

平成 28 年度

事業者番号

284

事業所番号

028400

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 事業所の概要

(1) 事業所種別

事業所種別	A 原油換算エネルギー使用量が年間1,500kL未満の事業所(合算)
A	

(2) 事業所及び事業内容

代表事業所名	株式会社リテラ 両神工場		前年度における事業所数	3
代表事業所所在地	市区町村	秩父郡小鹿野町		
	字・地番	両神薄2703		
当該事業所を含む事業所の名称 (※Bテナント等の場合のみ記入)				
産業分類名(中分類)	非鉄金属製造業			
分類番号(中分類)	23			
事業活動の概要	事業内容 従業員数等	主な製品:自動車用、建設機械用等のアルミ部品の製造加工 資本金:9千万円 全社従業員数254名(両神工場33名、本社棟12名、秩父第二工場10名)		

2 事業所の温室効果ガス排出量の削減目標

(1) 第2計画期間の削減目標

計画期間	27	年度	～	31	年度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)	H23～26年度の平均基準排出量(2,947t-CO ₂)に対し、31年度末までに5%以上削減する。又、平均原単位(1.9633)に対しても5%以上削減する。			
	その他ガス				

(2) 第3計画期間の削減目標

計画期間	32	年度	～	36	年度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)	第2計画期間(H23～26年度)の平均排出量に対し、36年度末までに5%以上削減する。又、平均原単位に対しても5%以上削減する。			
	その他ガス				

事業所リスト

番号	事業所名	所在地
1	株式会社リテラ 両神工場	秩父郡小鹿野町両神薄2703
2	株式会社リテラ 本社棟	秩父郡小鹿野町両神薄2703
3	株式会社リテラ 秩父第二工場	秩父市みどりが丘29-2
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

※ 入力欄が足りない場合は、シートの様式を変更せずに、同様式の別ファイルを作成して提出してください。

日本工業規格A列4番

3 事業所の温室効果ガス排出量

(1)原油換算エネルギー使用量の推移

原油換算エネルギー 使用量(kL)	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)
	1,521				

(2)計画期間の温室効果ガス排出量の推移

CO₂換算(t-CO₂)

	計画期間				
	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)
エネルギー起源 CO ₂	3,229				
その他ガス	非エネルギー起源 CO ₂				
	メタン				
	一酸化二窒素				
	ハイドロフルオロカーボン				
	パーフルオロカーボン				
	六ふっ化いおう				
	三ふっ化窒素				
温室効果ガスの合計	3,229				

(3)計画期間の温室効果ガス排出量原単位の状況(エネルギー起源CO₂)

CO₂換算(t-CO₂/指標)

	計画期間				
	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)
エネルギー起源 CO ₂ 排出量原単位	2.1229				
活動規模の指標	○ 生産量 t/年	1,521			

4 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の計画及び実施状況

A事業所

No	対策の区分			対策概要	実施年度	推計削減量(t) (一年度当たり)
	区分番号	区分名称				
		大区分	中区分			
1	360700	ポンプ、ファン、ブLOWER、コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	両神工場 「コンプレッサー自動制御システム」 監視運転による効率管理	H28年度	110
2	320100	ボイラー、工業炉、蒸気系統、	32_燃料の燃焼の合理化に関する措置	両神工場 溶解保持炉の熱源(LPG)管理によるエネルギーの効率化	H28年度	
3	320100	ボイラー、工業炉、蒸気系統、	32_燃料の燃焼の合理化に関する措置	両神工場 エネルギー(LPG)の非効率設備(溶解保持炉)の更新・3号炉	H28年度	122
4	320100	ボイラー、工業炉、蒸気系統、	32_燃料の燃焼の合理化に関する措置	両神工場 エネルギー(LPG)の非効率設備(溶解保持炉)の補修	H28年度	
5	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	両神工場(製品加工場、他) 天上照明(メタルハライド灯)のLED化	H29年度	5
6	150200	受変電設備、照明設備、電気設備	15_照明設備の運用管理	本社棟(金型メンテ室) 天上照明(メタルハライド灯)のLED化	H29年度	1
7	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	秩父第二工場 天上照明(メタルハライド灯)のLED化	H29年度	7
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

※ 入力欄が足りない場合は、シートの様式を変更せずに、同様式の別ファイルを作成して提出してください。

5 事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価

A事業所

(※希望者のみ記載)

自由記述欄

「事業所A」の事業所 ①両神工場 ②本社棟 ③秩父第二工場 の使用エネルギーの最も多い ①両神工場に於いて、平成20年6月に自社回路設計施工による「コンプレッサー自動制御システム」の運転を開始し、現在75kwhと55kwhコンプレッサー計4台の交互運転により、工場使用電力量の約8.4パーセントを削減している。平成27年度に新規生産受注による増産計画もあり、27～28年度に掛けて大型鑄造機、溶解炉 各3台を設置し、平成28年度以降の使用エネルギー量は増加が予測される。平成28年度の両神工場単独での使用エネルギーは1,500klを超過の予定。